

# 令和8年度 鶴岡市立上郷小学校の教育

## 【学校教育目標】

豊かな心を持ち、  
確かな学びに励む子どもの育成



## 【上郷小学校教育方針】

### ◇「子どもが育つ学校」

・かかわりを大切にしながら、しなやかでたくましく、主体的に学びに励む子どもを育成する。

### ◇「おらほの学校」

・地域、保護者、学校が一体となり、地域全体を学びのフィールドにして、ふるさとを愛する子どもを育成する。

## 【めざす子どもの姿】

### 【挑戦する子】

確かな学びの力を身につけ、進んで心と体を鍛える子

### 【心豊かな子】

よく考え、よりよく判断しあたたかく豊かな心で生き生きと学び合う子

### 【上郷を大切にする子】

人や本に進んで学びふるさとに誇りを持ち、大切にしようとする子

令和8年度テーマⅠ  
わくわく登校  
にこにこ下校

学校経営  
5つの重点

令和8年度テーマⅡ  
全職員が  
すべての子どもの担任

- 1 学校研究を核とした授業づくりから学校づくりへ
- 2 組織的に指導・支援、実践するチーム上郷小
- 3 しなやかでたくましい心と体づくりの推進
- 4 未来を見据え、自立を支える支援の充実
- 5 地域・保護者とともにある持続可能な学校づくりの推進



PTA・上郷地区自治振興会・学校運営協議会と地域学校協働活動  
上郷自治振興会と学校教育振興会・上郷文化財愛護会・放課後子ども教室  
民生児童委員・主任児童委員・鶴岡市第一ブロックと鶴岡型小中一貫教育

# 【令和8年度 力を入れていくこと】

★…特に重点とすること

## 1 学校研究を核とした授業づくりから学校づくりへ

研究主題「一人一人が主役、自ら学び続ける子どもの育成」

～教師の「出」と「待ち」のあり方についての探究～

### ★(1) 自ら学ぶ子どもを育む教育活動

#### ① 単元内自由進度学習・自己調整学習の取組

(深い教材研究：単元づくり・学習環境づくり・学びを活かしつなぐ振り返り等)

#### ② 資質・能力でつなぐカリキュラム・マネジメントの日常的取組

#### ③ 生徒指導4つの視点を活かした授業づくり

「自己存在感の感受」「自己決定の場の提供」「共感的人間関係の育成」「安全・安心な風土の醸成」

#### ④ 対話の充実

### (2) 確かな学力の定着

#### ① ICT機器の効果的な活用(新端末によるAIドリル・スタディ・ログ等の効果的活用)

#### ② オンライン授業や動画配信等の活用

#### ③ 家庭学習の充実(「手引き」活用・授業と連動)

### (3) 読書活動による学びの充実

#### ① 授業との関連、朝読書・読書まつり等の読書活動の推進

#### ② 読み聞かせ活動の推進(児童会・地域サークル・職員)

#### ③ PTAと連携した読書の推奨(「読書の日」・会員研修の実施等)

### (4) 教科担任制の推進による学力向上の取組

## 2 組織的に指導・支援、実践するチーム上郷小

### (1) 児童会を中心にした心の育成

#### ① 児童が主体となったハートフル活動の推進による豊かな心の育成

(自分も相手も元気になるあいさつ・返事、相手への敬意と感謝、マナーの向上)

### ★(2) 子どもの自立を支える生徒指導・教育相談体制の充実

#### ① 生徒指導の4つの視点を意識した指導・支援の充実

#### ② ケース会議やほっとルームによる組織的な教育相談体制の充実

#### ③ 心理的安全性の高い学校・学級づくりによるいじめの未然防止

子どものSOSを見逃さない取組

(居場所づくり、絆づくり、アンケートの実施・結果・分析・対応、研修の実施)

### (3) リーダーシップとフォロアーシップが機能する異学年交流・縦割り活動

#### ① 児童会活動、縦割り清掃、学校行事、合同授業、読み聞かせ活動、卒業プロジェクト

### ★(4) 子どもの安全・命を守る～最悪を想定し、慎重かつ誠実で組織的な危機対応～

#### ① 様々な場面を想定した避難訓練等による自らの命と安全を守る力の育成

(火災、地震、クマ・サル等の鳥獣、暴風雨、暴風雪、不審者出没等)

#### ② 危機管理マニュアルの組織的な見直しと職員研修の実施

## 3 しなやかでたくましい心と体づくりの推進

### (1) 自治的で自浄力のある話し合い活動と道徳教育による心の育成

#### ① よりよく生きる自治的で自浄力のある話し合い活動と道徳教育による規範意識の醸成

### ★(2) 情報モラル学習の充実

- ① 系統性・発達段階を踏まえた全ての情報モラル学習の実施（関係機関との連携）
- ② PTAとの連携によるメディアコントロールの取組と情報モラル研修

★（3）日常的な体力づくりと自己管理能力の育成

（4）体育指導における目標の明確化と場づくりの工夫

- ① 年間指導計画、体育的行事の見直し・学習カードの活用・施設設備の充実

#### 4 未来を見据え、自立を支える支援の充実

★（1）特別支援学級の安定した運用に向けた支援体制づくり

- ① 個の実態に応じたカリキュラムの適切な編成と自立活動の充実
- ② 特別支援教育校内委員会（特支 Co）を中心としたチーム対応

（2）各学級への支援体制の充実

- ① 教職員のニーズに沿った研修の充実（SST、Q-U、UD、インクルーシブ教育等）
- ② 各担任を支えるチーム対応や必要に応じた TT 指導の体制を整える

（3）切れ目のない支援のための体制づくり

- ① 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、実践・評価・改善のサイクルを機能させる
- ② 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用した確実な引き継ぎ

#### 5 地域・保護者とともにある持続可能な学校づくりの推進

★（1）ふるさとに学び、ふるさとを元気にする学習活動の展開（地域全体を学びのフィールドに）

- ① ふれあう（ふるさと教室・森づくり・地域探検・たいようの会・読み聞かせ会等）
- ② 学ぶ（ふるさと教室・川の学習・福祉学習・地域探検・上郷カルタ大会等）
- ③ 発信（学習発表会・住民のつどい・学校だより・地区広報「あさつゆ」等）

（2）学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進

- ① 地域とともに子どもを育む「おらほの学校」（めざす子どもの姿の共有）
- ② 地域の教育力を活かした地域学校協働活動のさらなる充実

（3）縮充する上郷小「学校の働き方改革の推進」

- ① 業務内容・行事・活動等の適正化
- ② 週時程見直しによるゆとり創造・校務支援システムの活用
- ③ 心理的安全性の高い、働きがいのある職場づくり

#### ※ お知りおきください

（1）年間行事予定について

これまでお伝えしていたものから、日程変更されている箇所があります。詳細は、学校だよりの裏面にある月ごとの予定表や、学級通信等でご確認ください。

（2）働き方改革の推進にご理解とご協力を

教育委員会から、月における時間外在校等時間 45 時間超の教員数 0 人をめざすことが示されています。子どもと向き合う時間の確保、よりよい授業提供のための教材研究の時間確保のためにも、ご協力をお願いすることが出てきます。その際はよろしくお願ひします。

（3）児童数の減少、それに伴う PTA 会員数の減少

1 年生を除き、続く 2 つの学年の合計が 16 人以下の場合は複式学級になる法律があります。現在の見立てでは、来年度の 2・3 年生が複式学級になります。そのまま推移して、令和 12 年度には、2・3 年複式学級と 5・6 年複式学級ができ、全校で 50 名を切る状況になりそうです。PTA の組織体制も見直していく必要が出てくることが予想されます。